



福岡市体操協会

【設立年月日】

1967（昭42）年 4月 1日

【加盟年月日】

1971（昭46）年 4月 1日

【歴代代表者】

会 長 2007（平19）年～ 山野 孝子
 理事長 2005（平17）年～ 湯浅 芳雄
 2014（平26）年～ 島田 正親

【沿革】

福岡市体操協会は、1967（昭42）年に発足、1971（昭46）年に福岡市体育協会（現：福岡市スポーツ協会）に正式加盟しました。以降長きにわたり、市内における体操競技、新体操の普及振興および選手の育成強化に尽力してまいりました。

【現在の活動】

現在の会員数は、幼児から社会人まで1,000名以上を数え、活発に活動しています。

〔体操競技〕

市内のジュニア世代の選手の多くがグリーンカレッジ体操クラブやアクション体操クラブに所属し、九州・全国大会へ出場。そのジュニア選手たちが2010（平22）年頃から地元福岡大学へ進学し活躍しています。福岡大学体操競技部の男子は西日本地区で常に優勝争いを演じ、全日本インカレではベスト8を続けています。特に2015（平27）年頃から鈴田佳祐や安里圭亮が跳馬で世界でもあまり行われない跳び方を披露し、全日本選手権などで種目別優勝するなど、メディアにも数多く取り上げられました。2017（平29）年には内田隼人がアジア選手権の日本代表となり団体3位に輝きました。2018（平30）年には米倉英信が跳馬において世界初の跳び方を成功させ、2019（平31）年4月に国際体操連盟からその技が「ヨネクラ」と命名認定され話題を呼びました。



〔新体操競技〕

市内に多数の教室やクラブチームがあり、活動が盛んです。大学生は、福岡大学の新体操競技部が男女ともインカレや全日本選手権で上位入賞するなど好成績を修めています。高校生は、中村学園女子高校が九州大会優勝、インターハイ4位入賞、全日本選手権出場など輝かしい成績を残しています。



福岡舞鶴高校や東福岡高校も九州大会、全国大会へ出場するとともに男子新体操におけるジュニア世代の育成強化を進め、競技人口の底辺拡大に努めています。

今後も福岡市の市民スポーツの普及振興に貢献できるよう努めてまいります。

■本協会主催の大会・教室

- ・市民総合スポーツ大会体操競技大会
- ・市民総合スポーツ大会新体操大会
- ・福岡市体操祭
- ・福岡市ジュニア新体操競技会 等